

専大熊本高校創立60周年祝う

専修大学熊本玉名高校が高校創立60周年を迎え、9月10日、記念式典を玉名市民会館大ホールで挙行了。本学関係者や熊本県、玉名市、教育関係者、同窓生らが出席し、節目を祝った。

同高は1966（昭和41）年に開校。「社会に対する報恩奉仕」の建学の精神のもと、地域に根ざした教育を展開してきた。

式典では、田中實理事



長、渡邊正隆校長が式辞を述べた。また、生徒代表は「誓いのことば」で、学校の歴史を築いてきた先輩や関係者への感謝と、伝統を次代へ受け継ぐ決意を表した。

式典後には、学校法人専修大学の日高義博総長が記念講演を行い、付属高校としての役割と今後の教育について展望した。

商・高橋裕教授

高橋裕教授の専門はシステム・ダイナミクス、経営情報システムなど。



受賞した。写真Ⅱが、2026年度日本経営数学学会賞を受賞。論文「システム・ダイナミクスとコンピュータを利用した問題分析とデザイン」をはじめとする研究業績などによる。

文・片桐教授

受賞論文は、「Long-Term Effects of Early English Exposure Education on Japanese High School Students' Listening and Reading Development: MCMC Bayesian Hierarchical Models」



「日本人高校生のリスニング・リーディング発達における早期英語教育の長期的効果：ベイズMCMC階層モデル」。早期英語教育の経験が高校生の英語力の発達に与える影響を検証した。

法学部・法教育プロジェクト

弁護士と立法体験



弁護士のアドバイスを受けながら法案をまとめ上げた

法学部主催「法教育プロジェクト」が6月30日、神田キャンパスで行われた。法学部の1〜3年生28人が参加し、弁護士の指導のもと、立法作業を体験した。

このプロジェクトは、社会課題を的確に考察して他者と対話・議論する力、法的かつ公正に解決する力、論理的に判断する力などを養うことを目的に2017年度にスタート。本年度は、第二東京弁護士会と埼玉弁護士会から4人の弁護士を招き、「積極的安楽死」と「熊被害から考える自然との共存」をテーマにグループワークを行った。学生たちは論点を整理した後、立法作業に取り組んだ。現役の弁護士か

る力などを養うことを目的に2017年度にスタート。本年度は、第二東京弁護士会と埼玉弁護士会から4人の弁護士を招き、「積極的安楽死」と「熊被害から考える自然との共存」をテーマにグループワークを行った。学生たちは論点を整理した後、立法作業に取り組んだ。現役の弁護士か

就職だより

＜4年次生＞

オンライン学内企業説明会

11月17日（火）開催

専修大学の学生をぜひ採用したいと考えている優良企業が参加する「オンライン学内企業説明会」を開催します。今からでも間に合う企業を知りたい「自分に合う企業をもう一度探したい」「内定はあるが納得して就職活動を終えたい」という方におすすめです。就職活動中の方はぜひ積極的

にご参加ください。

また、進路や就職活動に関する悩み・不安がある場合は、一人で抱え込まず、気軽にキャリア形成支援課までご相談ください。

進路届および就職アンケートへの回答

進路決定者は就職支援システム「Sineer」にて必ず「進路届」を提出してください。「in Campus」から「就職アンケート」の回答にもご協力お願いします。

＜3年次生＞

学生就職アドバイザー相談会、先輩による就活相談会、

神田キャンパス10月12日（月・祝）〜23日（金）
生田キャンパス10月19日（月）〜23日（金）開催

「この時期の就職活動って何をすればいいの？」「自己PRやガクチカはどう作った？」そんな疑問を、就職活動を終了した4年次生の先輩に気軽に直接相談できる企画です。

誰もが知る大手企業や行政機関の就職活動を経験した先輩だからこそ話

公開講座情報

大学院公開講座Part2 商学研究科
企業のESG（環境・社会・ガバナンス）と商学研究
▽日時＝10月9〜30日（毎週金曜日）
18時半〜20時
▽場所＝神田キャンパス7号館731教室
オンライン配信あり
▽受講料＝無料
専修大学大学院リカレント教育プログラム、
千代田区キャンパスコンソ共同公開リレー講座
▽要申し込み【締め切り】各開催日の5日前まで



シンポジウム「『遺族の願い』と『企業の良心』が
つなぐ未来―いのちを第一に考える安全な社会を―」
▽日時＝10月31日（土）13時〜16時半
▽場所＝神田キャンパス10号館10051教室
オンライン配信あり
▽受講料＝無料
一般社団法人健たいのちの教室、
専修大学法社会学ゼミナール主催、
専修大学法学研究所後援
▽要申し込み【締め切り】10月30日（金）



金融リテラシー講座②（実践編）

▽テーマ＝考えてみよう！これからのマネープラン
▽日時＝10月31日（土）13時半〜15時
▽場所＝神田キャンパス10号館10092教室
千代田区キャンパスコンソ協力講座
▽要申し込み【締め切り】10月26日（月）



政策科学シンポジウム

▽テーマ＝半導体と産業政策
▽日時＝11月6日（金）14時半〜17時半
▽場所＝神田キャンパス7号館731教室
▽受講料＝無料
専修大学大学院リカレント教育プログラム、
大学院経済学研究科・社会科学研究所共催
▽要申し込み【締め切り】10月28日（水）



専修人の新しい本

地区防災計画と「コミュニティの社会学」東日本大地震からコロナ禍、能登半島地震まで



金思穎著

本書は、筆者が10年以上にわたって取り組んで

旅先での親切とコミュニケーション

先日、ミラノに出張しました。ミラノはイタリア北部の都市で、ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の壁画があることでも有名です。目的はミラノ工科大学で開催された国際会議への参加です。会場のミラノ工科大学の創立は1863年で歴史のある大学です。

私の宿泊先はミラノ郊外で大学まではバスで毎日通っていました。ミラノは、バス以外にも路面電車（トラム）、地下鉄など公共交通機関が充実しており、移動には困りません。ある朝、ホテルから最寄りのバス停に向かっていくと、向こうから初老の男性が歩いてきて、すれ違いました。気にせずバス停で待っていると、通り過ぎたはずの男性が振り返って、私の方に一直線に歩いてきました。バス停には私一人で、その男性は真剣な顔をして首を振りながら「ノーフェルマータ！」と言って去っていきました。私はまったくイタリア語を解しませんが、大事なことを伝えにきたことは分かりました。よくみ

るとイタリア語で張り紙がしており、バスが運休かもと推察してトラムで向かうことにしました。トラムを降りたい場合には降車ボタンを押します。降車のためにボタンを押すとドアの上にランプがつき、「Fermata」と表示されました。おそらく読み方はフェルマータで先ほどの男性は「待っていてもバスは停車しない」ということを伝えにきてくれた、とその時分かりました。見ず知らずの旅行者に対してとても親切な方でした。

現地の言葉が分からなくても、勘と経験でなんとかなるものです。「伝えよう」「分かって」とする気持ちが大事なことに気付かされました。皆さんも機会があればぜひ文化や言語が異なる異国の地を訪れてみてください。人と人とのコミュニケーションの気付きが得られるかもしれません。（学生部委員・宮村崇）

